



平成 24 年 4 月 12 日

各 位

会 社 名 テクマトリックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 由利 孝  
(コード：3762、東証第二部)  
問合せ先 企 画 部 長 森脇 喜生  
(TEL. 03-5792-8601)

## 新医療クラウドサービス『NOBORI』の開始に関するお知らせ

### 記

当社は、平成 24 年 6 月 1 日（予定）から新たな医療クラウドサービス事業を開始しますので添付資料のとおり、お知らせいたします。

平成 22 年 2 月の厚生労働省の通知により、医療情報（データ）は医療機関（病院）以外の民間事業者の運営する施設での保管が制度上認められるようになりました。しかし、医療機関は飛躍的に増加する医療情報に伴う自前の IT 投資の増大や IT 専門家の育成に頭を抱えながらも、医療情報が極めて機密性の高い個人情報であることから、外部の民間事業者に医療情報を預けることに踏み切れない背景がありました。

当社が長年の経験で培った機密性の高い医療情報を安全に保管するための技術と、特定の通信事業者と連携しデータ通信とデータセンターの運営のノウハウを組み合わせることにより、医療機関にこれまでにない安全で低コストな医療情報の管理ができる医療クラウドサービスを提供します。

以上

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社  
(東証二部 / 証券コード: 3762)

## テクマトリックスが新たな医療情報クラウドサービス 『NOBORI (のぼり)』を開始

ー 医療画像・医療情報を低コスト・安全に保管。バックアップのみならず、画像情報に関する病院内の管理運用全体を、クラウド環境に移行することをサポートする。ー

テクマトリックス株式会社（以下 テクマトリックス：本社：東京都港区、社長 由利 孝）は国内通信事業者等と連携することで、本年2012年6月1日（予定）から、新たな医療クラウドサービス『NOBORI』のサービスを開始します。新クラウドサービスの『NOBORI』では、医療機関の内部で発生する大量の画像等医療情報を暗号化した後、バラバラに分割することで、それぞれの情報の塊の単位では、全く意味をなさないデータへと変換してから、外部のデータセンターに安全に保存管理する機構を提供します。

2010年2月の厚生労働省の通知により、民間事業者による医療情報の保存管理が制度上認められるようになりました。しかしながら病院にとっては受診患者の個人情報の秘匿、保護への懸念から、他産業では一般化するクラウドサービスの活用になかなか踏み切れない背景がありました。一方で、医療機器の高度進化により、施設内で発生する画像情報量は飛躍的に増大しており、それに伴うIT投資の増大、またITの専門家ではないスタッフによる大規模なコンピュータサーバの管理運営が深刻な経営課題となっています。

上記、医療機関における課題へのソリューションが新サービスの『NOBORI』です。新サービスでは専用の通信装置（NOBORI-CUBE）を病院内に貸出設置することにより、情報の安全管理に対する責任分岐点を顧客施設内に設け、大切な情報を確実に預かることが可能になります。

### 医療クラウドサービス『NOBORI』の特徴：

1. 医療情報の暗号化と、完全な分離分割後のクラウド環境での保存管理
2. 多拠点多重管理（電力供給 50Hz, 60Hz 地域分散）による災害対策
3. 貸出し提供される専用通信装置（NOBORI-CUBE）のみで院内 PACS を構成
4. 初期投資ゼロ、利用料課金のみのクラウド型 PACS システム
5. 医療機関と個人のコミュニケーションを支援する情報サービスの提供

テクマトリックスグループでは、1998年より医療機関向けのITサービスを提供しています。これまで子会社の関連事業を併せると、国内に約350のユーザ医療機関が存在します。また連結子会社の合同会社医知悟では、過去4年間に亘り、遠隔画像診断を目的として、月間約8万検査（過去参照画像検査含む）の大量な医用画像を、インターネット経由で送受信するサービスの運営経験を有しています。これらのITサービスの経験と、顧客との対話の積み重ねから、新ソリューション提供を目指し、3年前から設計検討を重ね、1年間の集中的な実証実験の結果を、新サービスの『NOBORI』に集約しています。テクマトリックスは、医療情報の確実な暗号化と分割によるデータセンターへの安全な送受信の機構、専用通信機器の設計開発、またクラウド型のPACSのソフトウェアを提供します。

さらにデータセンタ内に於ける、低価格かつ障害性の高い大容量ストレージ機構の構築、また個別の医療機関による投資では困難な広域災害対策として、データ管理の多拠点化と拠点連携の機構を独自に開発しています。将来的には上述の専用通信装置により、画像情報に加え、さらに広範囲の医療情報の安全な外部管理、同時に医療サービスの利用者（個人）と医療サービスの提供者（医療機関）とのコミュニケーションをサポートするITインフラの構築を目指しています。

新医療クラウドサービス『NOBORI』の名前は、プロジェクト全関係者からの公募で決定されました。空高くのぼる雲（のぼり雲）のように、大切な情報達が空高くに昇って行く様子への連想からのネーミング。ロゴのバルーンが高い空に昇って行く図案（下図）は、ひとりひとりの大切な情報をさらに高い次元で集約し、集合知（統計データ）として、医師、医療サービス従事者、医療サービスの利用者1人1人に還元したいという願いが込められています。



新サービスの利用料では、従来の院内設置型の PACS に対して、5年 TC0 (Total cost of ownership) を 20% 削減することが可能。6月のサービス開始に先行して、既に複数の先進的なユーザでの導入が決定しており、9月までに6施設、サービス開始から6年間で、全ユーザ（希望施設）の『NOBORI』への移行を計画しています。また、6月のサービス開始に続いて、順次モバイル端末連携、知識データベース機能、病院と患者のコミュニケーション支援等、付加的なサービスのリリースも計画されています。サービス開始時、データセンターはソフトバンクテレコム の施設を利用します。

#### 【テクマトリックス株式会社 について】

テクマトリックス（東証二部：3762）は、クラウドコンピューティング時代に技術革新をもたらす情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」と、ソフトウェア技術を駆使し顧客の抱える問題領域におけるベストプラクティスを実装したアプリケーションの提供を行なう「アプリケーション・サービス事業」を提供しております。医療事業部では1998年より、国内でも最も早くWEB型のPACSシステムを自社開発製品としてリリースし、大学病院を含め約250の医療機関に提供しています。

#### 【問い合わせ先】

本プレスリリースに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

テクマトリックス株式会社

医療システム事業部 依田 佳久

TEL: 03-5792-8610 (代表) FAX: 03-5792-8710

E-mail: [medical-sales@techmatrix.co.jp](mailto:medical-sales@techmatrix.co.jp)

URL: <http://NOBORI.in> <http://www.techmatrix.co.jp>

\*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。